



瑛九 蟻のあしあと 1956年 リトグラフ 筑波大学・石井コレクション

紙上の技法学

筑波大学所蔵 石井コレクション

2012年1月7日(土) - 2月19日(日)

武蔵野市立吉祥寺美術館

■休館日：1月25日(水) ■開館時間：午前10時～午後7時30分 ■入館料：100円(小学生以下・65歳以上・障がい者の方は無料)
 ■主催：武蔵野市立吉祥寺美術館 ■協力：国立大学法人筑波大学

紙上の技法学

筑波大学所蔵石井コレクション

筑波大学が所蔵する石井コレクションは、株式会社図書館流通センター相談役・石井昭氏によって蒐集され、絵画・工芸あわせて200点余りにも及びます。絵画部門には平面芸術の技法を深く研究しながら前衛的な作品を発信し続けた瑛九や、ジャンルにとらわれぬ多才な芸術活動で脚光を浴びた池田満寿夫、上野駅の大壁画で知られる猪熊弦一郎などの巨匠が名を連ねています。また工芸部門には、江戸時代の有田焼

から板谷波山や小山富士夫まで、日本が生んだ逸品の他、明・清時代の景德鎮陶磁、高麗青磁や朝鮮白磁など、東アジアの名品が揃っています。

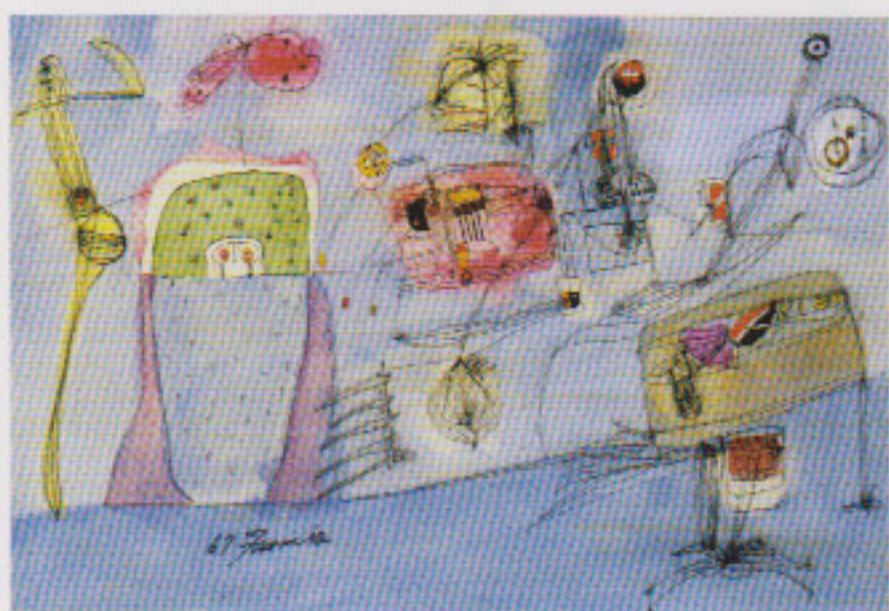
筑波大学の研究・教育に資するものとして石井氏から寄贈されたことを受け、この貴重な作品群は適切な保存・修復処置が施された上で、同大学により学術的な調

査・研究が重ねられ、その成果は展示やワークショップにより積極的に発信されてきました。学外においてもこのコレクションへの評価は高まっており、2007年には茨城県つくば美術館で開催された日本近代洋画を概観する企画の一翼を担い、2011年には茨城県陶芸美術館の東洋陶磁展で工芸部門が一挙に公開されたばかりです。

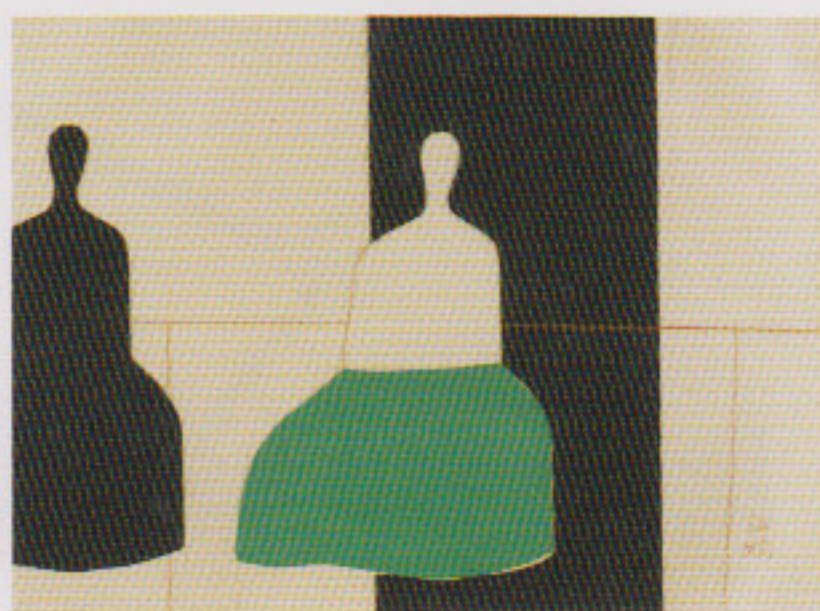
県外初の石井コレクション展となる本展覧会では、絵画コレクションのうち、紙を支持体にした作品51点を選びました。キャンバスや板に比べ、紙は傷みやすくデリケートな素材であると同時に、誰にも親しみやすい素材です。そのバリエーションも豊富で、様々な顔料に柔軟に適應します。そのため数多の画家たちが様々な技法を試み、多くの表現手段を編み出してきました。そしてこれからも、豊かな表現世界が広がっていく無限の可能性を孕んでいるのです。その歴史の中から今回は20世紀後半の日本で生まれた色とりどりの作品をご紹介します。普段とくに意識されることのない、紙という身近な素材の懐の深さを改めて感じながら、さまざまな技法・材料を活かした多彩な表現を楽しんでいただければ幸いです。

- 池田龍雄
- 池田満寿夫
- 猪熊弦一郎
- 瑛九
- 大沢昌助
- 奥山民枝
- 桂ゆき
- 加納光於
- 駒井哲郎
- 菅井汲
- 清宮質文
- 鶴岡政男
- 中村忠二
- 難波田龍起
- 難波田史男
- 深沢幸雄

(50音順)



1



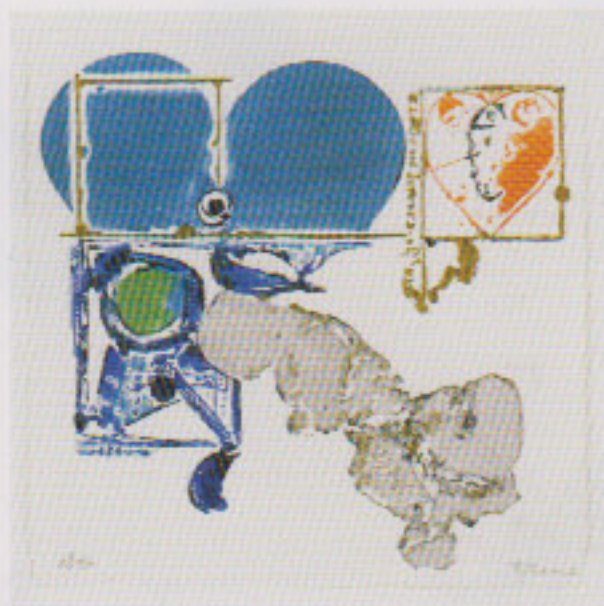
2



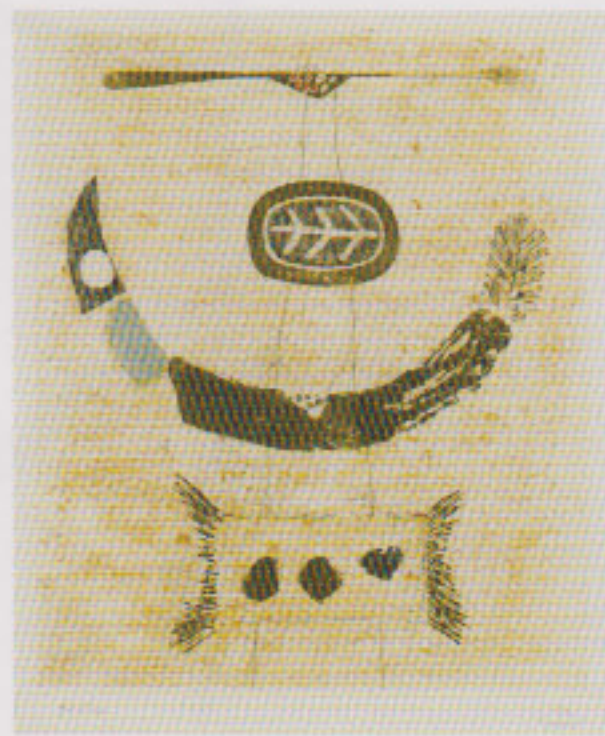
3



4



5



6



7

講演会

「美術と文学の織り成す世界—筑波大学の美術コレクションをめぐって(仮)」

講師：寺門臨太郎(筑波大学准教授)

日時：1月28日(土)午後2時~3時30分

定員：90名(要予約・先着順) 入場無料ですが美術館入館券が必要です。

申込方法：1月7日(土)よりお電話または美術館窓口で直接申し込み

筑波大学学生によるギャラリートーク

1月8日(日) 午後2時~(1回)

1月14日(土)、15日(日)、22日(日)、29日(日) 午後2時~、4時~(各日2回)

2月5日(日)、12日(日)、18日(土)、19日(日) 午後2時~(各日1回)

申込不要。参加無料ですが、美術館入館券が必要です。

*実施が2回の日と1回の日がございます。お間違えのないようご注意ください。

なお、内容は毎回異なります。

ワークショップ

「影をつかまえる—フォトグラムってなんだろう?—」

講師：浅見俊哉(美術作家)

日時：1月21日(土)午後1時~4時30分

定員：15名(小学生以上)

参加費：一人1000円

「リトグラフをやってみよう!」

講師：楚山俊雄(版画家)

日時：①2月4日(土)午後1時~4時30分

②2月11日(土・祝)午前10時~午後4時

(途中休憩あり)

定員：10名(両日参加できる方)

参加費：一人2000円

申込方法：はがき・FAX・メールのいずれかに、

①希望ワークショップ名②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥メールアドレス(お持ちの方)を記入の上、1月14日(土)《必着》までに、吉祥寺美術館ワークショップ係までお送りください。

応募者多数の場合は抽選(市民優先枠あり)とし、結果は全員に通知します。

- 1: 難波田史男 無題 1967年 水彩・インク、紙
- 2: 大沢昌助 女性像 1984年 コラージュ、紙
- 3: 桂ゆき 虎の威を借る狐 1956年 リトグラフ
- 4: 猪熊弦一郎 窓 1978年 シルクスクリーン
©公益財団法人ミモカ美術振興財団
- 5: 加納光於 《葡萄の葉》 1967年 レリーフプリント
- 6: 菅井汲 大阪のみやげ 1956年 エッチング
- 7: 池田満寿夫 五月 1966年 ドライポイント・ルーレット・ビュラン
作品はすべて筑波大学・石井コレクション

武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16

FFビル(コビス吉祥寺A館)7階

Tel.0422-22-0385 fax.0422-22-0386

http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

mail:museum-ws@musashino-culture.or.jp



【交通案内】
JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車徒歩約3分
美術館専用の駐車場はありません